

令和二年度

当初予算



鹿児島市長 森 博幸

“大交流新時代”の扉を開く

市民の皆さんとさらなる飛躍へ

いよいよ今年は、かごしま国体・かごしま大会が開催され、また、中心市街地の大規模な再開発等により本市のまちの装いが大きく生まれ変わり、機能が強化されていく、まさに“大交流新時代”の幕開けを迎えようとしています。

私は、この大交流をまちの活力創出や活性化の源泉に、豊かさを創造し、さらなる飛躍の時代の扉を開くため、力強い一歩を踏み出していきたくと考えています。

このため、令和2年度を挑戦と好機の年として、「まち」の魅力を磨く、「ひと」の活躍を応援する、「しごと」の機会を創るという3つの視点に立ち、創意工夫による財政の健全性を維持しながら、過去最高となる積極的な予算を編成し、新たな時代の礎を築く諸施策を盛り込みました。

現在、人口減少問題や地球温暖化、また県内でも感染が確認された新型コロナウイルス感染症の影響など、さまざまな課題に直面しています。克服に向けた取り組みに当たり、私は、未来を見据えながら、明るい展望が拓けるよう積極果敢に取り組んでいこうと決意しています。そして、市民の皆さんと心を一つにして、真に、豊かさを実感できるまちの創造に全力を傾け、未来への希望を次代につないでいきたいと考えています。

Challenge「挑戦」とChance「好機」の令和二年度

「まち」の魅力を磨きます

カルティベート
Cultivate

- 交流人口のさらなる拡大
- 脱炭素社会の構築
- 機能的でにぎわいのある都市空間の形成

「ひと」の活躍を応援します

チア
Cheer

- 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり
- 地域との連携による次代の担い手づくり
- 優しさと温もりのある健康・福祉施策を推進

「しごと」の機会を創ります

クリエイト
Create

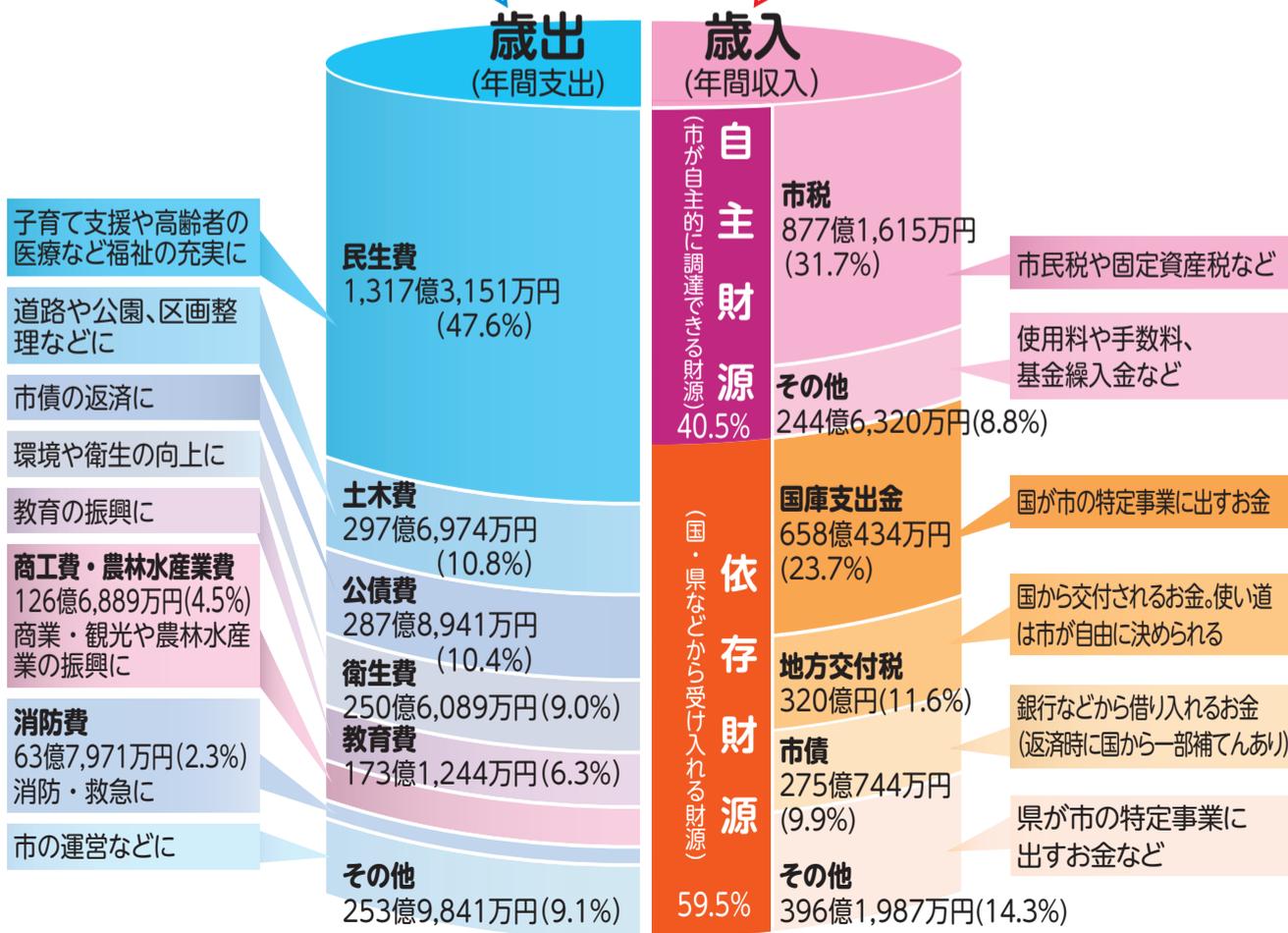
- 成長分野における新産業の創出
- 中小企業の事業承継などの支援
- 地元就労やワーク・ライフ・バランスの促進

本市を愛し、思いを寄せるあらゆる人の情熱と行動力を結集

“豊かさ”実感都市の実現にチャレンジ

歳出で最も多いのは、子育て支援や高齢者の医療などに使われる民生費、約1,317億円で、一般会計当初予算全体の半分近くを占めています。

歳入で最も多いのは市税で、昨年度に比べ法人税割の税率引き下げの影響などにより約8億円の減額。国庫支出金は、社会保障関係経費や都市基盤整備に要する経費の増などにより、約52億円の増額となりました。



1 「挑戦」と「好機」の令和二年度 まちづくりの3つの視点

かごしま国体・かごしま大会の開催や中心市街地の大規模な再開発などによる“大交流新時代”の幕開けを、千載一遇の好機として最大限に生かし、さらなる飛躍の時代の扉を開くべく、力強い一歩を踏み出します。

2 一般会計当初予算277.1億円の内訳

本年度の本市の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた当初予算は、482.6億円。このうち一般会計当初予算は277.1億円と過去最高の予算規模となりました。

【財政課 ☎ 216・1155 FAX 216・1162】

飛躍の時代の扉を開く積極予算

“豊かさ”を創造し、さらなる

“大交流新時代”の幕開け